

『臥龍梅』 蔵便り

平成二十七年葉月



拝啓 連日の猛暑ですが、皆様お元気でお過ごしでしょうか。

今月もご報告することが盛りだくさんです。先月の28日、岩手県の花巻温泉で、杜氏、蔵人一同と**全国新酒鑑評会金賞受賞の祝勝会**を催しました。ちょうど南部杜氏協会主催の技術研修会が開催されていて、頭役の神谷君も含め蔵人全員が集まるのに好都合でこのタイミングとなりました。1年の3分の2ものあいだ留守宅を守ってくださる奥様方にも同席していただき、その労をねぎらいました。蔵で酒造りに励んでいるときは別人のように和やかな蔵人達の笑顔をご覧ください。お酒が足りない状態ですので、来期には更に増産しなければなりません。菅原杜氏と綿密な打ち合わせをし、翌29日に花巻温泉を発ちました。さて、今月の2日(日)、**第6回臥龍梅を愉しむ会**を開催いたしました。場所は今年で三回目となる江東区清澄庭園の大正記念館です。10時ころ会場に到着しますと、スタッフの方が気を利かせ、猛烈な暑さに備えて室内をがんに冷してくれてありました。窓から見えるお庭の緑が眩しいほどの美しさです。受付開始予定時のかなり前から炎天下でお客様が待ってくださっておりましたので会場を早めにかけて涼しい室内に入ってくださいました。11:30に開宴し、応援団長の発声で乾杯して大宴会の始まりです。今年も**臥龍梅応援団**の会員の皆様にメールでご案内ただけで入場券は完売となりました。地元静岡からわざわざ上京して参加して下さった方が何名もおり、嬉しい限りです。今回はちょっと趣向を凝らし、**テーブル対抗利き当て会**を開催しました。テーブル上に雄町と短稈渡船の純米大吟、山田錦の袋吊、誉富士、五百万石の純米吟醸、合計5本の720ml壺と中味はわからないけれど前記5点のどれかの入った茶色の壺1本が並べられ、利き酒して中味を当てるといふものです。正解はテーブルごとに異なり、解答はテーブルの皆さん全員で相談して提出します。22テーブル中9テーブルが正解でした。さすが応援団員だけあって酒飲みの猛者と感心しました。その後、恒例の**大抽選会**、これまた恒例の**逆転ジャンケン大会**と進んで会場内はヒートアップし、**トリ**で菅原杜氏が**南部杜氏唄**をご披露してやんやの大喝采を浴び、13:30に中締めとなりました。まったくあっという間の2時間でした。杜氏にも従業員にも私にも、こうした皆さんの応援が何よりの励みです。もっともっと美味しいお酒を造るよう精進してゆくことを誓って私からの中締めのご挨拶といたしました。



さて、今月は新商品、**純米吟醸の秋あがり**をご案内いたします。麴米に山田錦、掛け米に五百万石を用いた新しいコンセプトのお酒で季節限定の発売です。どちら様もお早めにお求めください。

暑さのおりから、くれぐれもおからだをお大事に。

平成27年8月吉日

敬具

鈴木 克昌